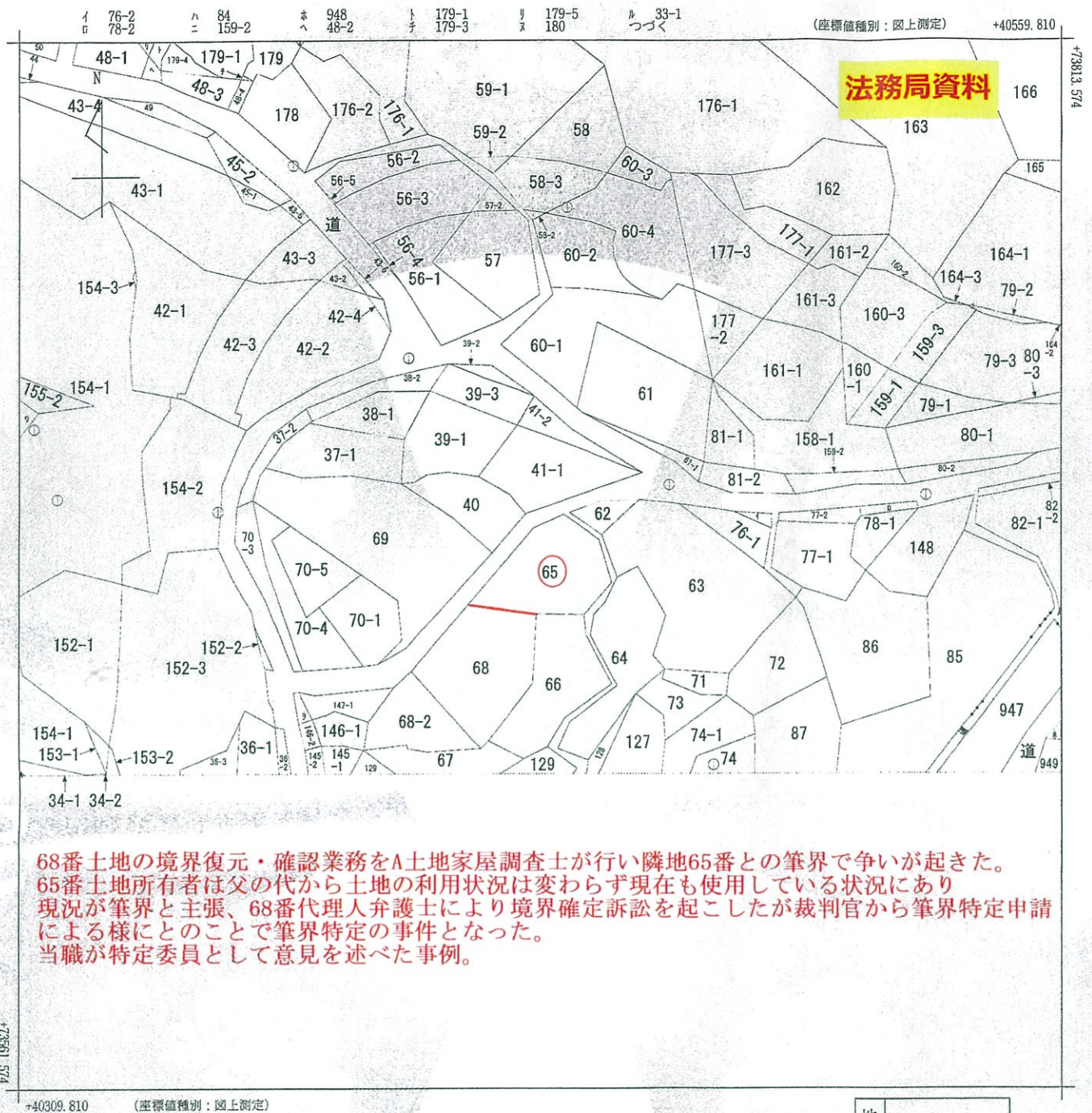




請求部	所在	国頭郡本部町宇山里東泉河原				地番	65番			
出力尺	1/1000	精度区分	乙二	座標系番号又は記号	X V	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和43年2月				備付年月日(原図)	昭和51年4月6日		補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和2年5月25日

那覇地方法務局名護支局

地図整理番号：M03818

登記官

伊数栄信

(1/2)



本部町役場資料





(注)地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

請求部	所在	沖縄県 本部町 山里 東泉河原	地番	65			
縮尺	1/1200	補記事項					

これは閉鎖された地図に準ずる図面の写しである。

令和2年5月25日

那覇地方法務局名護支局

登記官 伊敷 栄信



見取圖又ハ測量圖

小字	番地	目地	積
六	六	六	六
六	六	六	六
六	六	六	六
六	六	六	六



1/1200



土地所有申請書

本部所付

小字	番地	目地	積	等級	摘	要	特	所	氏	名	天	印	名
山	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六

右保人連署ノ上申請書也

一九四七年一月一日

保人 香田主

保人 仲宗根庄栄

保人 香田主

保人 棚原憲彦

山字所有權委員會御中

見取圖又八洲圖

				東仙河	名	香	目	龜	瑞
				六天		增			
				高小		題			
				/		目			
				一〇八		龜			
				即		瑞			

$$\frac{1}{1200}$$

土地所有申請書

本部断録

[illegible]

右保險人連署，上中諸位

一九四七年二月二日

番主 棚原憲之

保
證
人
主
冊
票
憑
證

字所有權委員會御中

沖縄県土地対策室資料

別紙(一) 一筆地調査関係記号

331

(1) 区分名称		記号	色別	備考
区域界	市町村界		黒色	一覽図に表示する。(調査図には表示しない)
	字界		"	"
小字界	小字界		"	"
	仮境界		赤色	市町村及び字界、小字界に適応
筆界	筆界線		黒色	筆界線は明瞭な線で結ぶ。
	誤謬訂正線		"	誤謬訂正の筆界表示。
	筆界標示杭		"	木杭(軍用地の配分、編纂地の確認杭の表示は赤色)
	筆界樹木		"	樹木類。
	筆界標石 (又は自然石)		"	筆界標石の類。
境界土塚	境界土塚		"	山林等の境界に用いられているもの。
筆界未定	紛争地		赤色	紛争による未定。
	潰地		"	潰地による未定。
	その他		"	その他の理由による未定
筆界	筆界抹消		赤色	筆界線上に赤色のX印を連続させて消す

図114

333

軍 使 用 土 地 の 表 示						現 地 の 筆 界 点 標 示			区 分 名 称	記 号	色 別	備 考
構 造	送 電 線	送 水 管	標 識	鉄 塔	道 路 セ ン タ ー	軍 用 地 界	木 樹 界 筆	筆 界 標 石	筆 界 杭			
							中 間 点	主 要 点	中 間 点	主 要 点	中 間 点	主 要 点
	(E.P.L.)	(P.O.L.)	↑	⊗								
褐色	〃	〃	〃	〃	〃	緑色	〃	〃	〃	〃	〃	赤色
軍用地に於けるへいやさく等の表示。	連続する鉄塔の位置を長破線で結ぶ。	連続する送水管の位置を長破線で結ぶ。	軍施設物の指示標識又は標石。	鉄塔並びに変電所の位置の表示	軍道に於ける道路センターの表示	緑色軍使用地域の境界の表示。	〃	〃	〃	〃	〃	赤色赤色のペンキで二個所に表示。
							筆界樹木の二個に表示すると共に方向も合せて表示。		赤色のペンキで方向をも合せて表示。			赤色のペンキで一個所に表示。

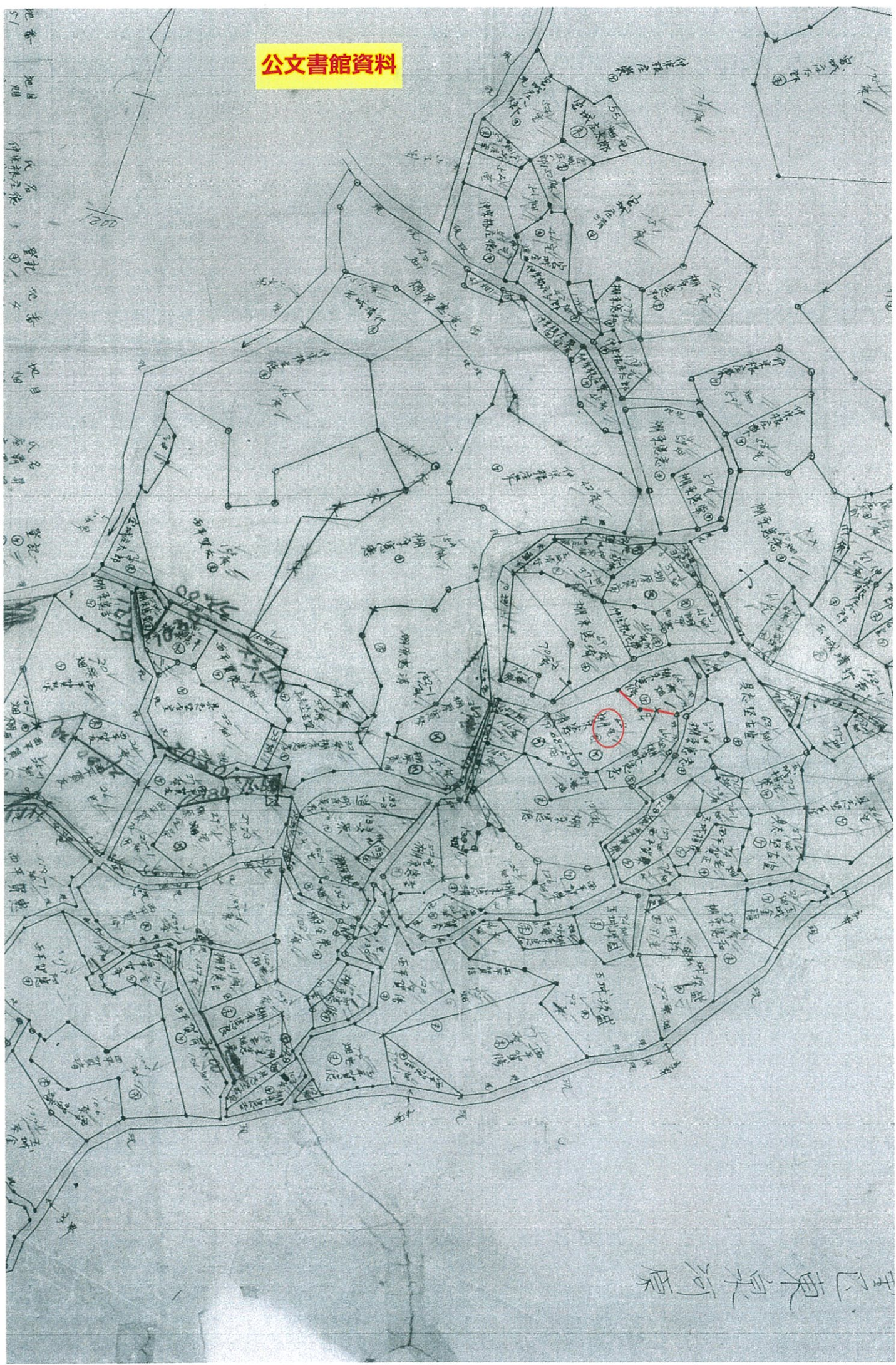
334

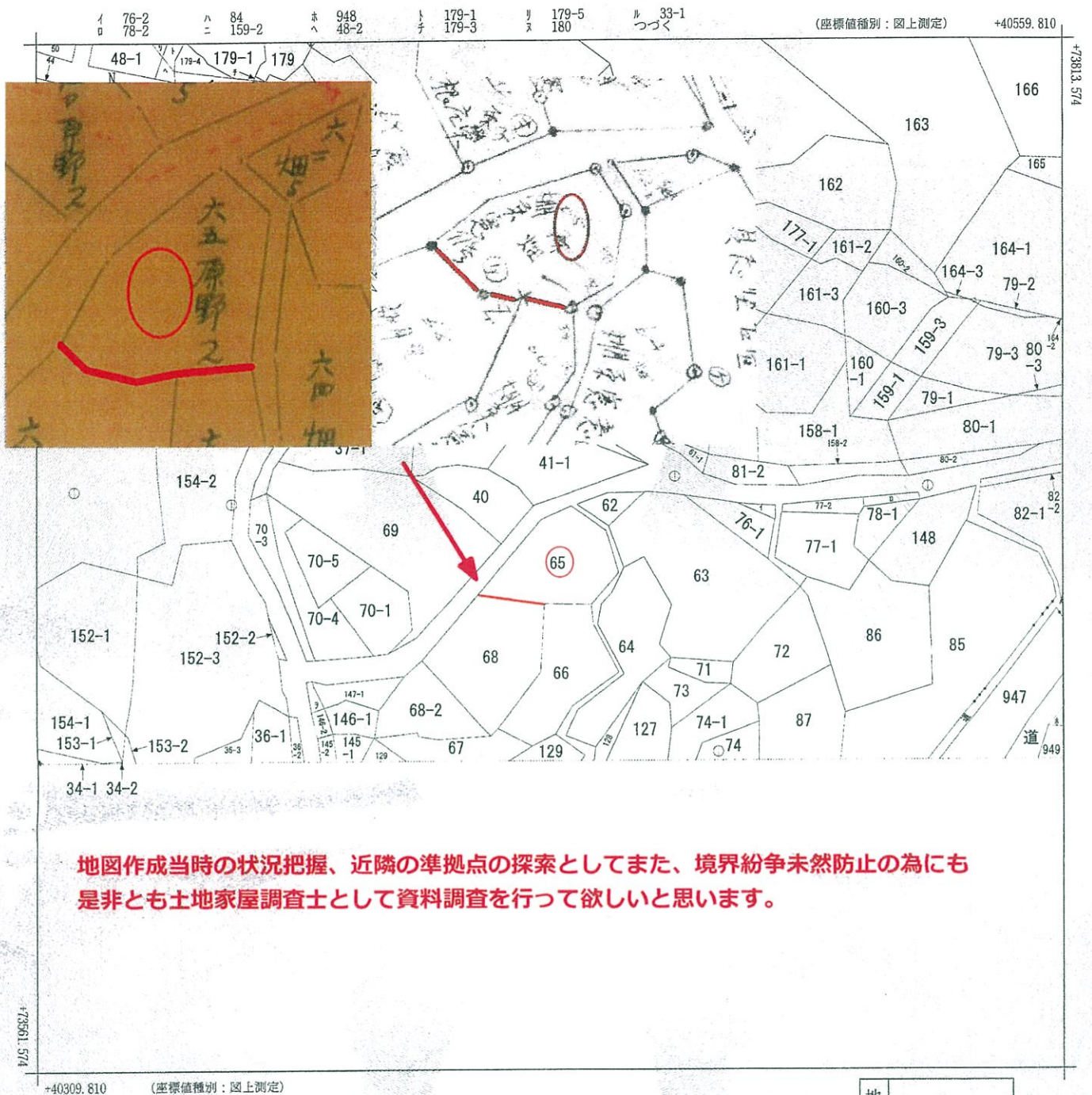
附1に

附2

別

区分	名称	記号	色別	備考
道路	軍道	(軍道 号)	赤色	道路番号を記載する。
	政府道	(政道 号)	"	"
	市町村道	(市道 号)	"	"
	その他の道路	-----	"	一般公衆用道路の表示。
	河川	→ →	青色	適用河川及び準用河川。
水路	用水路	———	"	悪水排せつ用の水道敷地の表示。
	井	———	"	用水路以外の水路の表示。
	溝	———	"	用水路以外の水路の表示。
堤		[]	赤色	独立して存する堤の表示





請 求 部 分	所 在 国頭郡本部町宇山里東泉河原					地 番 65番				
出 力 縮 尺	1/1000	精 度 区 分	乙二	座標系 番号又は 記号	X V	分 類	地図(法第14条第1項)		種 類	地籍図
作 成 年 月 日	昭和43年2月				備 付 年 月 日 (原図)	昭和51年4月6日			補 事 記 項	

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和2年5月25日
那覇地方財務局名護支局

地図整理番号：M03818
(1/2)

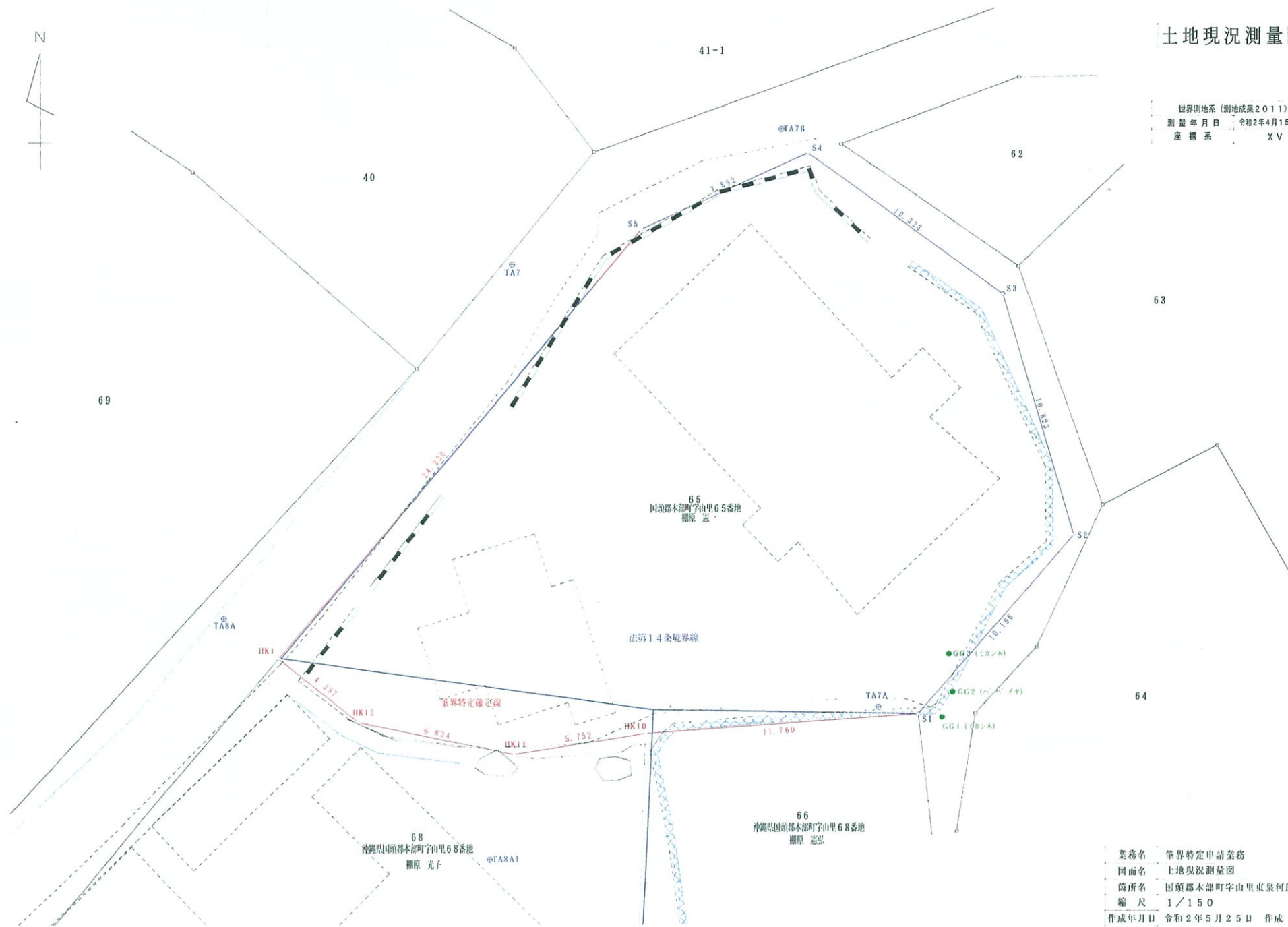
登記官

伊敷栄信



土地現況測量図

世界測地系 (測地成果 2011)
 測量年月日 令和2年4月15日
 座標系 XV



業務名 境界特定申請業務
 図面名 土地現況測量図
 箇所名 国頭郡本部町字山里東泉河原
 縮尺 1/150
 作成年月日 令和2年5月25日 作成
 作成者 土地家屋調査士 島袋 徹志



2/13

機密性 2

号

殿

那覇地方法務局

筆界特定登記官 井 戸 広



筆界特定をした旨の通知について

下記 1 の筆界特定の手続について、下記 2 のとおり筆界特定をしたので、不動産登記法第 144 条第 1 項の規定により、通知します。

記

筆界特定手続の表示

手続番号

対象土地 国頭郡本部町字山里東泉河原 6 8 番

(以下「対象土地甲」という。)

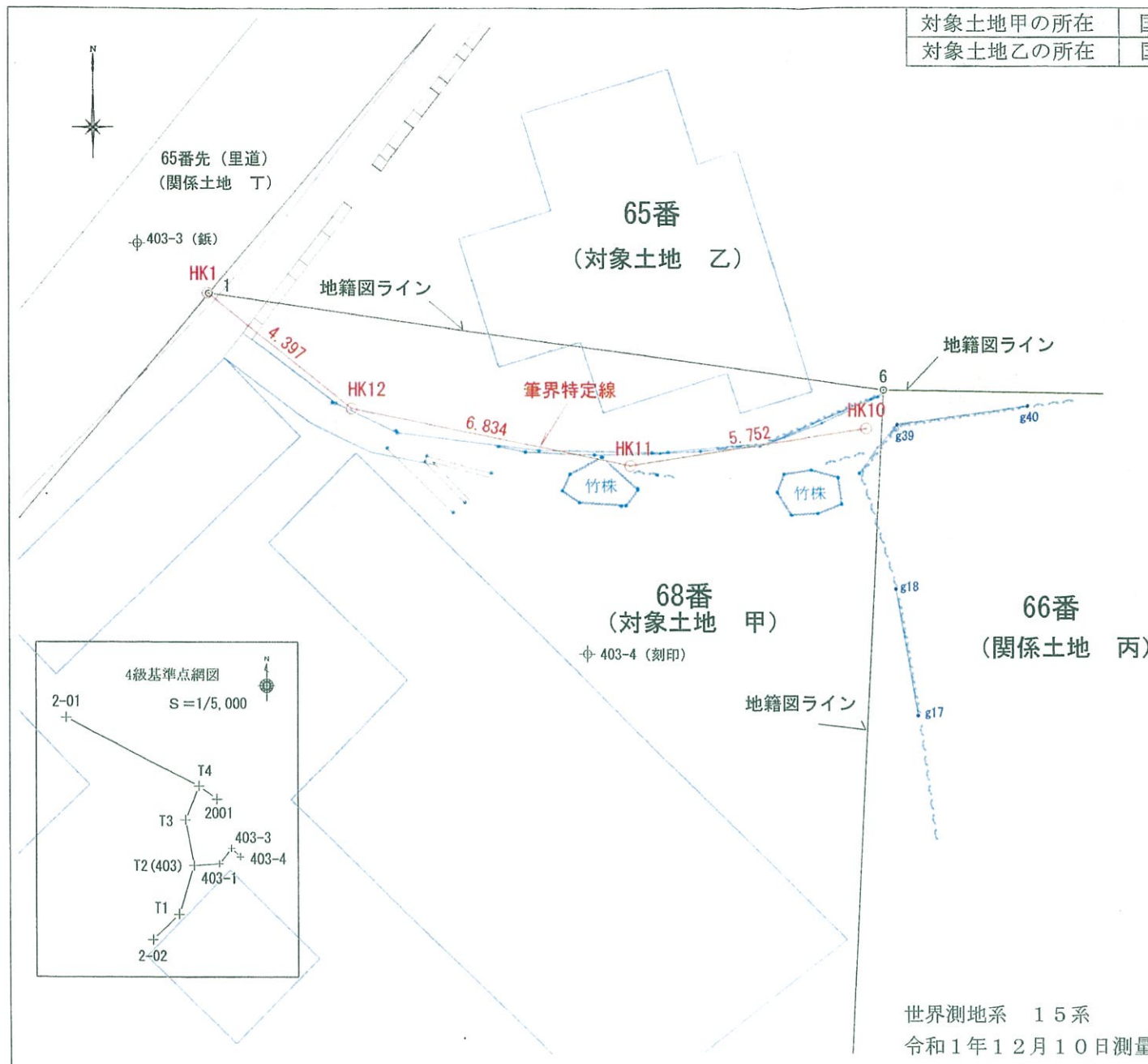
国頭郡本部町字山里東泉河原 6 5 番

(以下「対象土地乙」という。)

2 筆界の現地における位置

対象土地甲と対象土地乙との筆界は、別添筆界特定図面中 HK 1 点，HK 1 2 点，HK 1 1 点及び HK 1 0 点を順次直線で結んだ線

対象土地甲の所在	国頭郡本部町字山里東泉河原	地番	68番
対象土地乙の所在	国頭郡本部町字山里東泉河原	地番	65番



与点の名称及び座標値(電子基準点)		
点 名	X座標	Y座標
本 部	77035.084	39650.008
大 宜 味	78626.533	64081.391
宜 野 座	53564.242	47094.825

基準点の名称及び座標値			
点 名	X座標	Y座標	備 考
2-01	73836.068	40218.200	金属鈔
2-02	73571.799	40321.661	金属鈔
2001	73738.021	40398.863	刻印
T1	73601.908	40353.294	金属鈔
T2 (403)	73659.351	40371.118	金属鈔
T3	73713.226	40361.107	金属鈔
T4	73753.866	40377.319	金属鈔
403-1	73661.211	40401.828	刻印
403-3	73679.230	40416.000	金属鈔
403-4	73669.443	40426.779	刻印

現況石積点の名称及び座標値		
点 名	X座標	Y座標
g17	73667.978	40434.725
g18	73670.991	40434.203
g39	73674.910	40434.255
g40	73675.354	40437.390

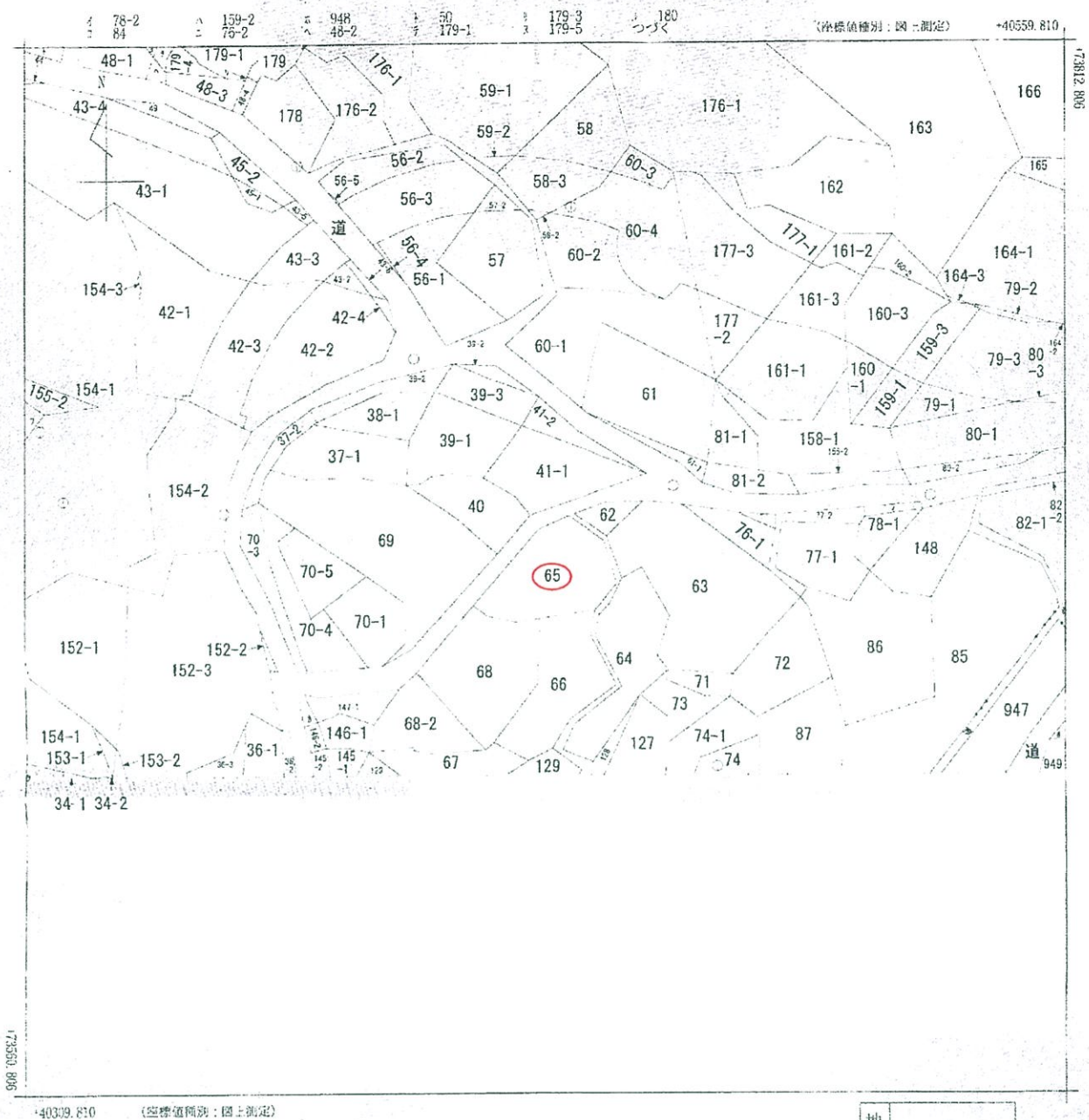
特定した筆界点の名称及び座標値		
点 名	X座標	Y座標
HK10	73674.823	40433.518
HK11	73673.924	40427.836
HK12	73675.314	40421.144
HK1	73678.038	40417.692

世界測地系 15系

令和1年12月10日測量

(単位：メートル)

手続番号	令和1年 第22号	縮尺	1/100
------	-----------	----	-------



請求 部	所在	国頭郡本部町字山里東泉河原				地番	65番			
出力 縮尺	1/1000	精度 区分	乙二	座標系 又は 記号	X V	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成 年月日	昭和43年2月			備考 年月日 (原図)	昭和51年4月6日			補記 事項		

これは地図に記載されている内容を証明した書面である。

令和3年2月12日
那覇地方法務局名護支局

地図整理番号: M04042
(1/2)

登記官

伊敷栄信



表示年月日：2017/09/19

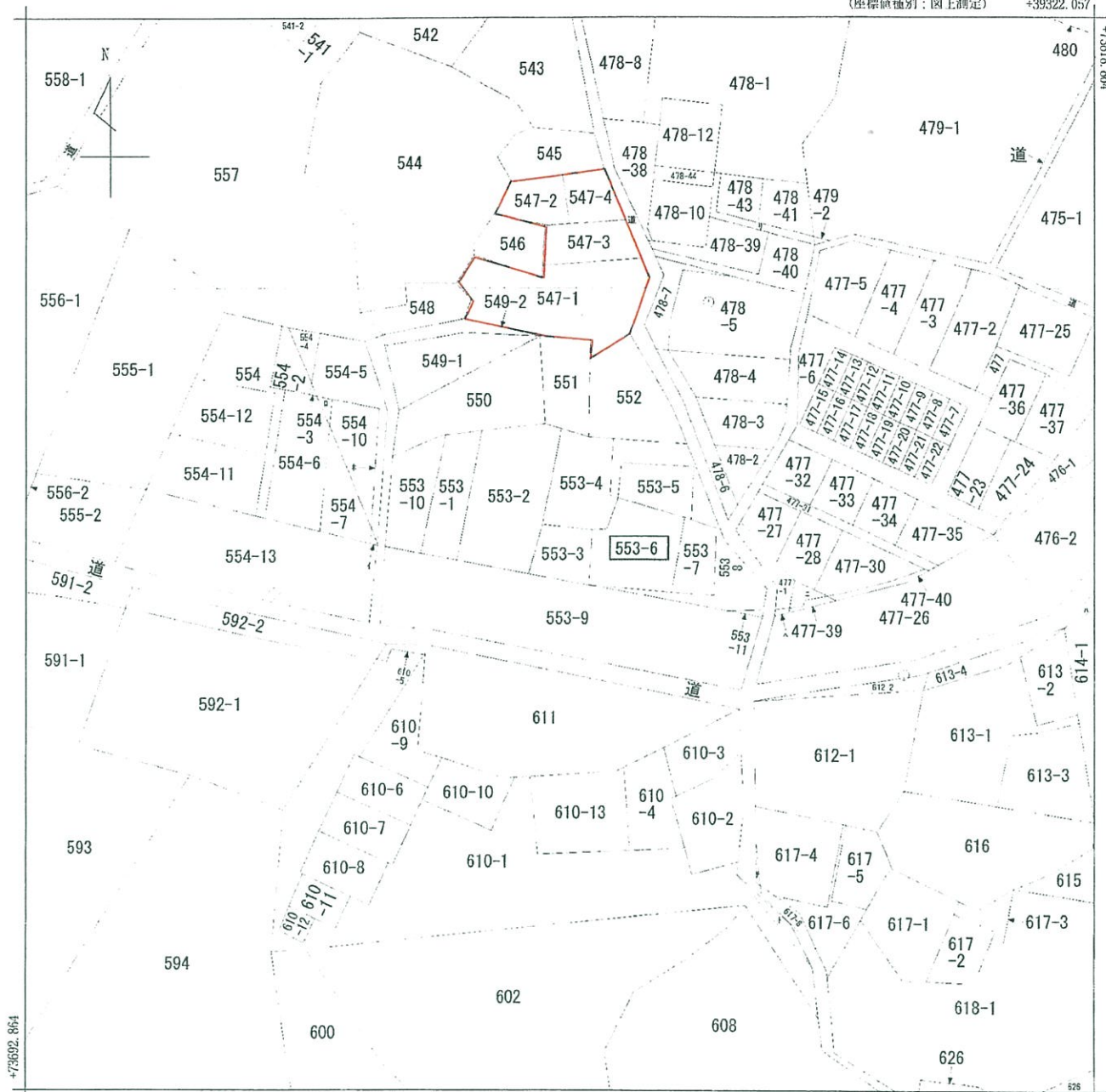
イ 554-8
ロ 554-9
ハ 614-2
ニ 477-29

554-1
477-38
610-14
617-7

478-42

(座標値種別：図上測定)

+39322.057



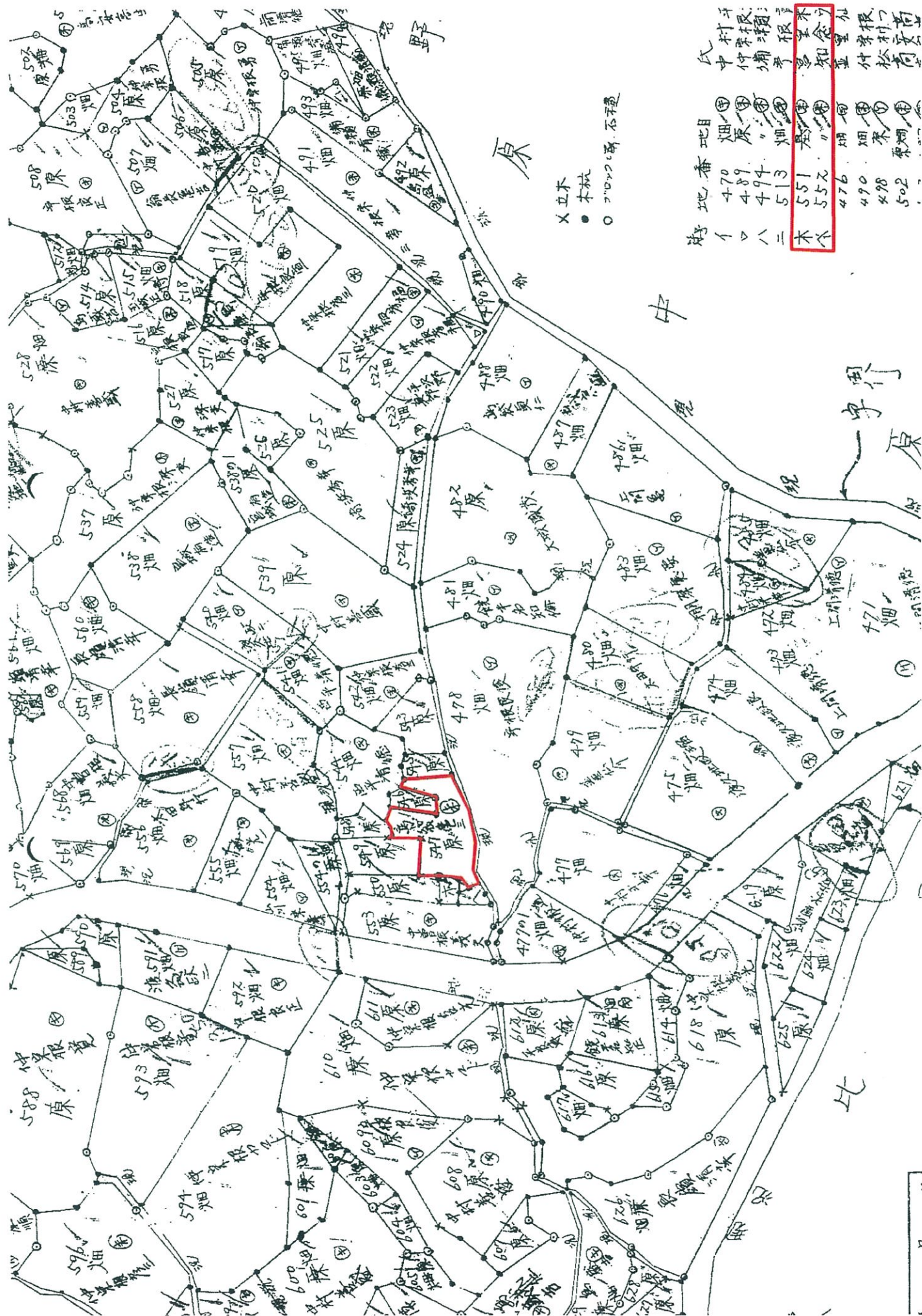
+39197.057

(座標値種別：図上測定)

地番区域見出

字渡久地

請求部	所在	国頭郡本部町字渡久地中原				地番	553番3			
出力縮	1/500	精度分	乙一	座標系番号又は記号	X V	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和43年2月				備付年月日(原図)	昭和51年4月6日		補記事項		



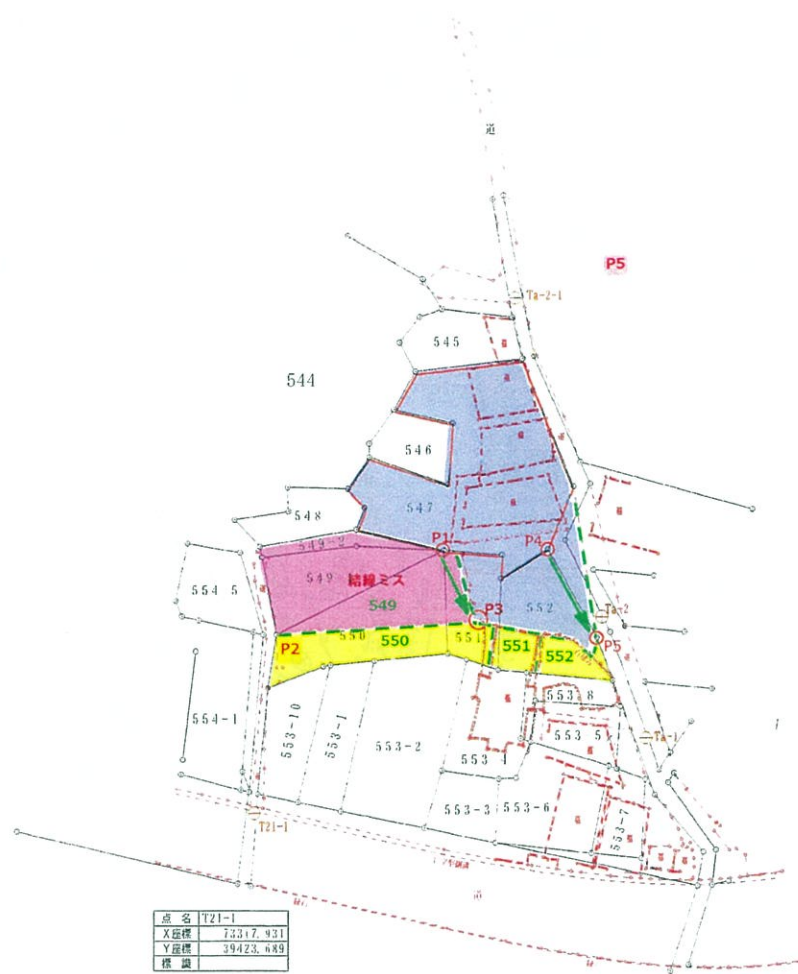
姓	地番	地目	村
氏	470	畑	中村
仲	489	畑	仲村
端	494	畑	端村
寺	513	畑	寺村
多	551	畑	多村
知	552	畑	知村
金	476	畑	金村
重	490	畑	重村
仲	498	畑	仲村
松	502	畑	松村
高			高村

本部町字渡久地中原

縮尺 S=1/500

現況重ね図

「旧座標系」



T21-2

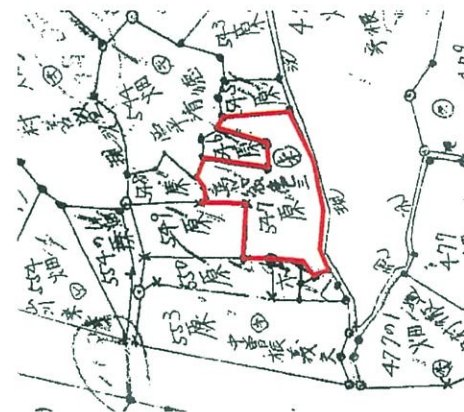
点名	T21-2
X座標	73325.708
Y座標	39386.116
標高	

T21-1

点名	T21-1
X座標	73317.931
Y座標	39423.689
標高	

T11-2

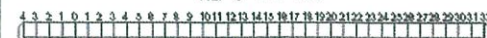
点名	T11-2
X座標	73297.181
Y座標	39175.107
標高	



2014年12月21日作成



縮尺 1 : 400





(注)地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

請求部	所在	沖縄県 本部町 瀬底 内武前原	地番	3498			
縮尺	1/1200	補記事項					

これは閉鎖された地図に準ずる図面の写しである。

令和7年1月14日

那覇地方法務局名護支局

登記官 松田 香

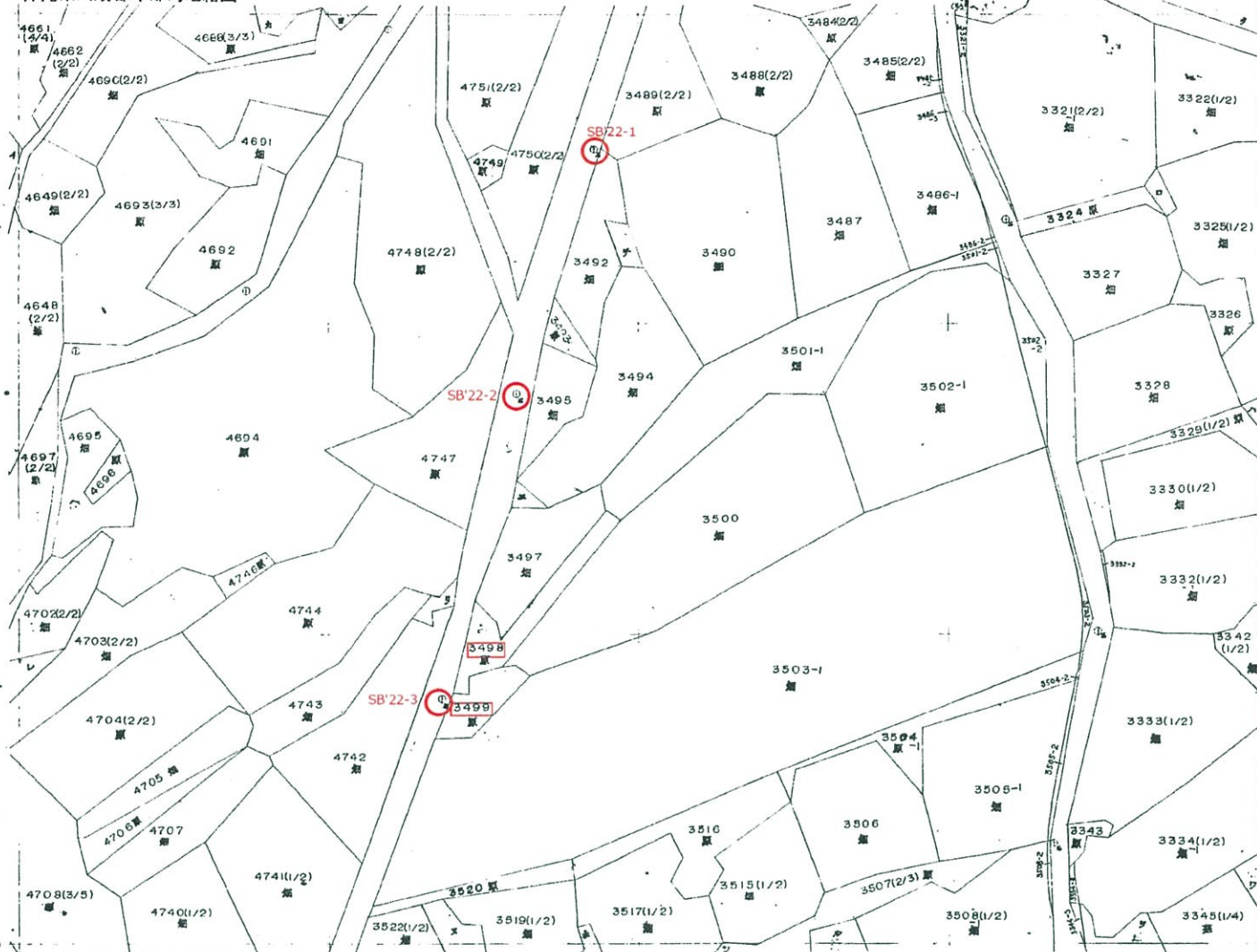
本 S52-3

十七条地

沖縄県国頭郡本部町地籍図

法務局資料

沖縄県土地対策室資料
が原図



シ	3507(1/3)	畑
レ	4708(2/5)	畑
サ	2988(3/4)	畑
ニ	4689(3/2)	畑
ホ	4689(2/3)	畑
イ	4650(2/2)	畑
ロ	3323	畑
ハ	3331(1/2)	畑
ニ	3496	畑
ホ	3518(1/2)	畑
ヘ	3320(2/2)	畑
ト	3341(1/2)	畑
チ	3491	畑
リ	3745	畑
ニ	3521(1/2)	畑
ホ	3508(1/2)	畑
チ	3344(1/2)	畑
リ	3345(1/4)	畑
リ	3346(2/3)	畑

地区区分: 1000.00 町区
 1:500 地籍図 4000: 1:1000
 図例: 地籍図 (地籍図)

一筆地調査図

本部 瀬底



H000038687

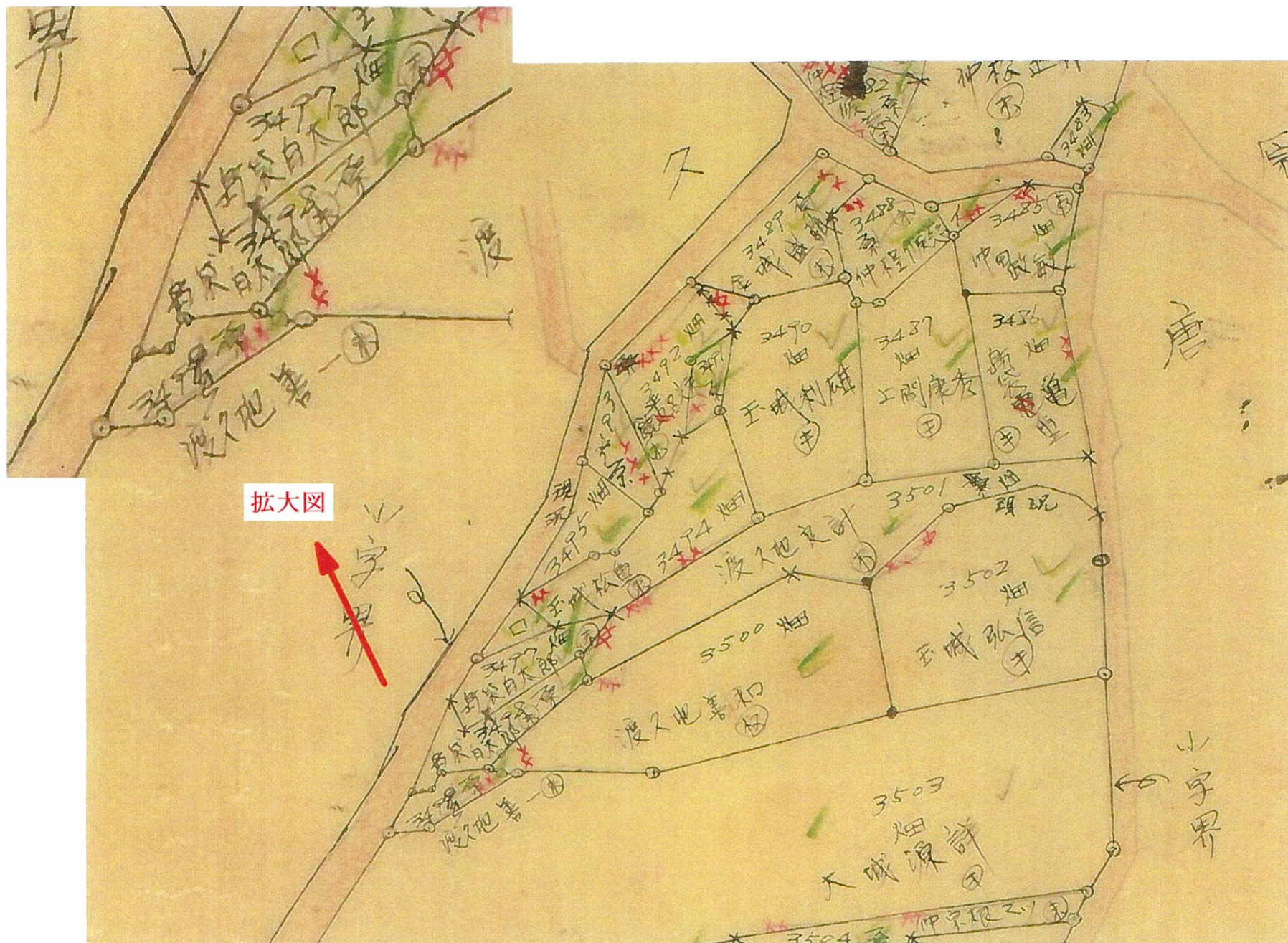
期 向 自/968年/0月2日
至/969年/1月20日

判定済

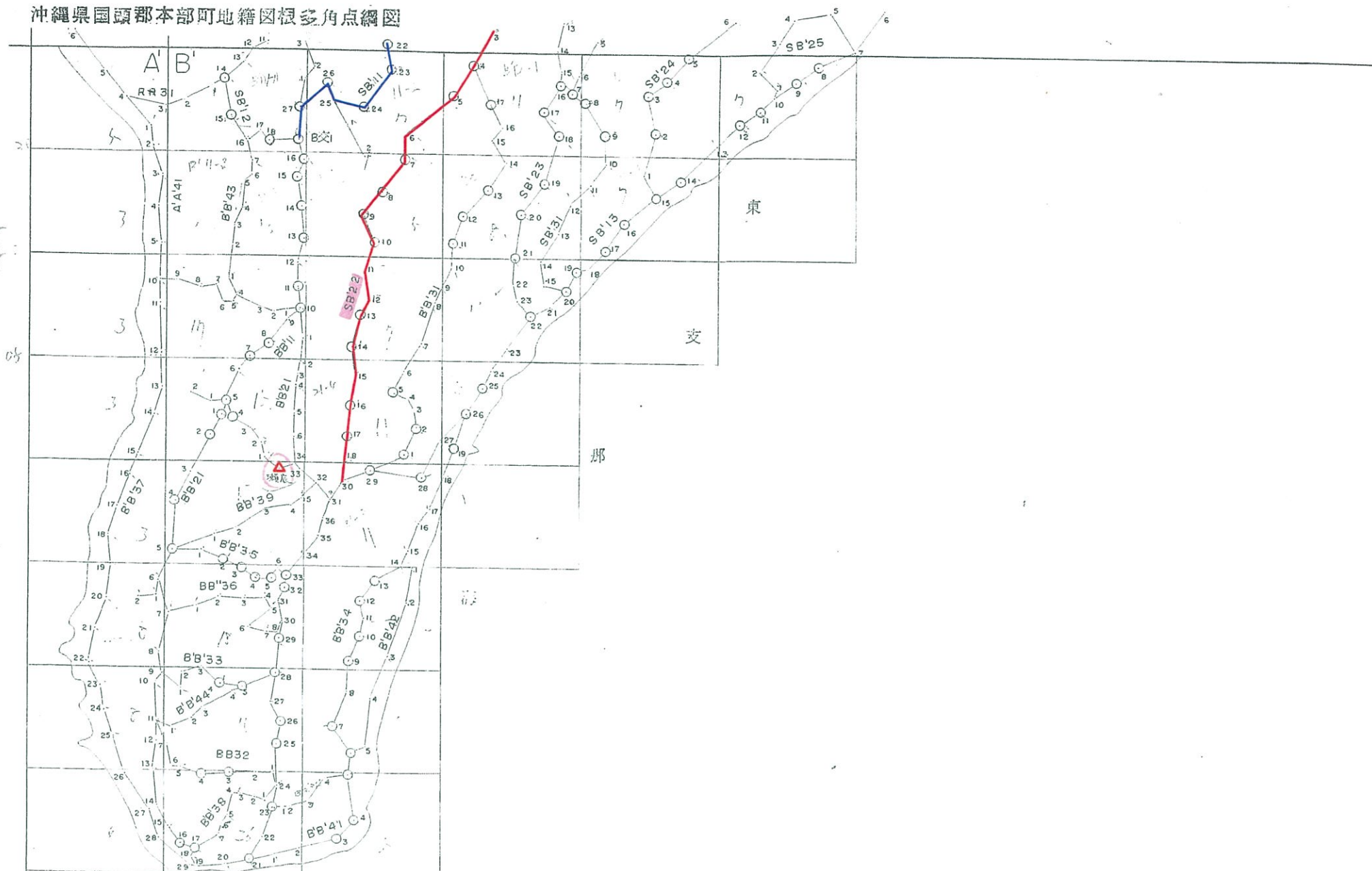


0000076965

法務局 臨時土地調査部



沖縄県国頭郡本部町地籍図根多角点網図



角点成果簿 (原本) (抄写)

GB-2

点名	座標系			精度区分	原本				
	SB'22			Z1					
点名	X			H	S	Σ			
	km	m	cm	km	m	cm	°	'	"
SB'11-13	70.681.99	+	36.503.25				54.46	19	6.57
SB'22-1	628.56	+	482.72				41.43	19	25.33
SB'22-2	589.04	+	480.28				50.60	19	53.11
SB'22-3	538.93	+	468.11				75.28	20	49.01
	470.12	+	439.90				45.43	22	37.32
	435.65	+	419.29				90.22	23	40.10
	378.42	+	340.40				33.0	17	26.18
	345.43	+	340.69				43.82	21	6.6
	299.84	+	312.06				45.66	21	2.54
	264.39	+	283.27				43.15	16	10.05
	223.32	+	296.46				41.62	19	5.55
	183.19	+	285.42				39.47	17	5.5
	143.87	+	288.78				27.20	20	5.48
	119.25	+	277.21				45.49	19	22.44
	075.07	+	266.66				37.91	17	26.30
	70.037.26	+	269.86				48.37	18	43.36
	69.989.05	+	265.70				44.06	18	19.19
	945.27	+	260.82				33.87	18	54.57
	911.82	+	36.255.44				27.30	18	11.47
	69.884.75	+	36.252.69						

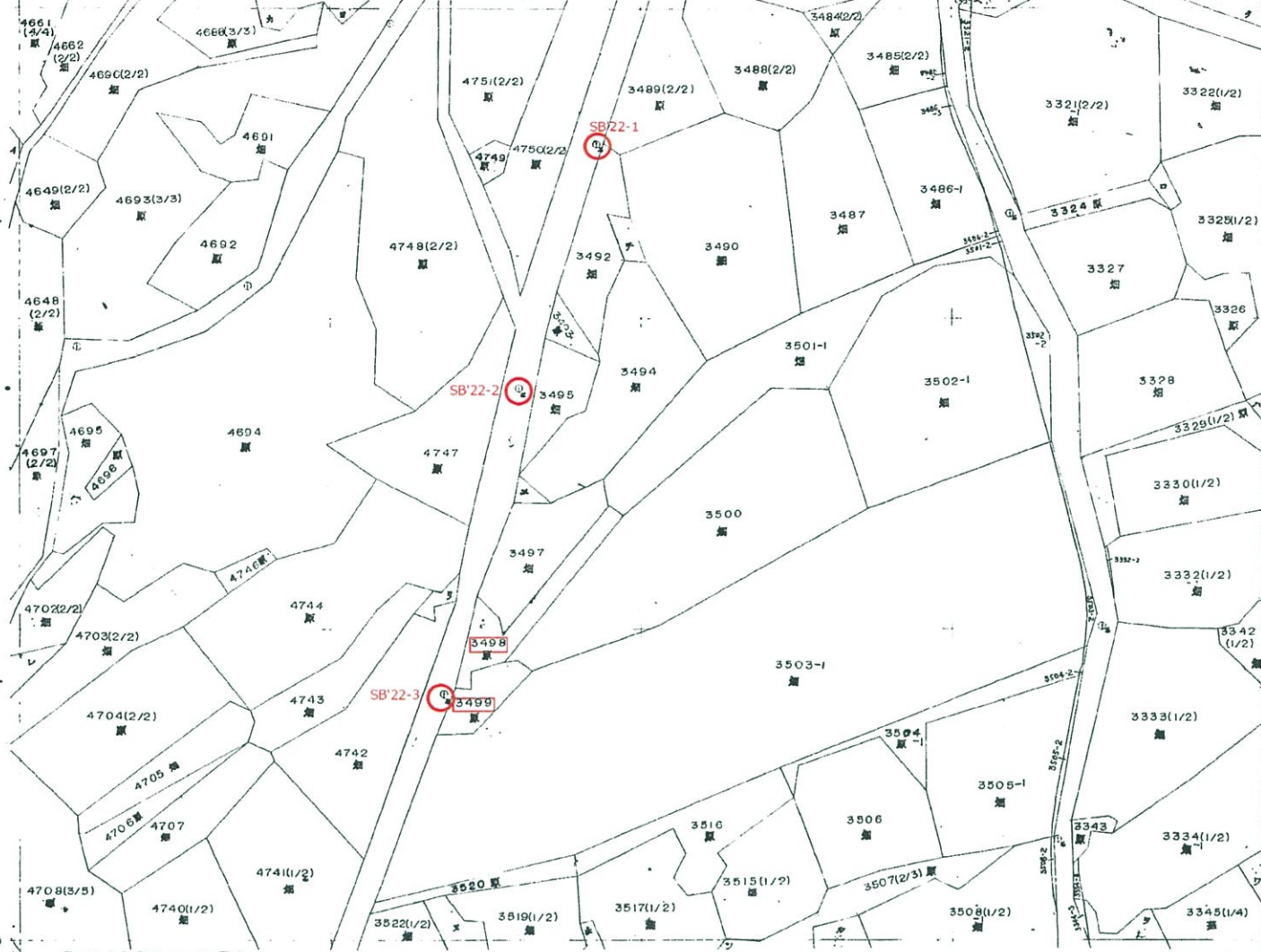
Y:横線 H:標高
(座標系に基づく距離)

1968年11月15日 整理抄 記入者 比嘉 点検者

本 S52-3

十七条地図

沖縄県国頭郡本部町地籍図



5 班 1+70.50 1+36.40

法務局資料

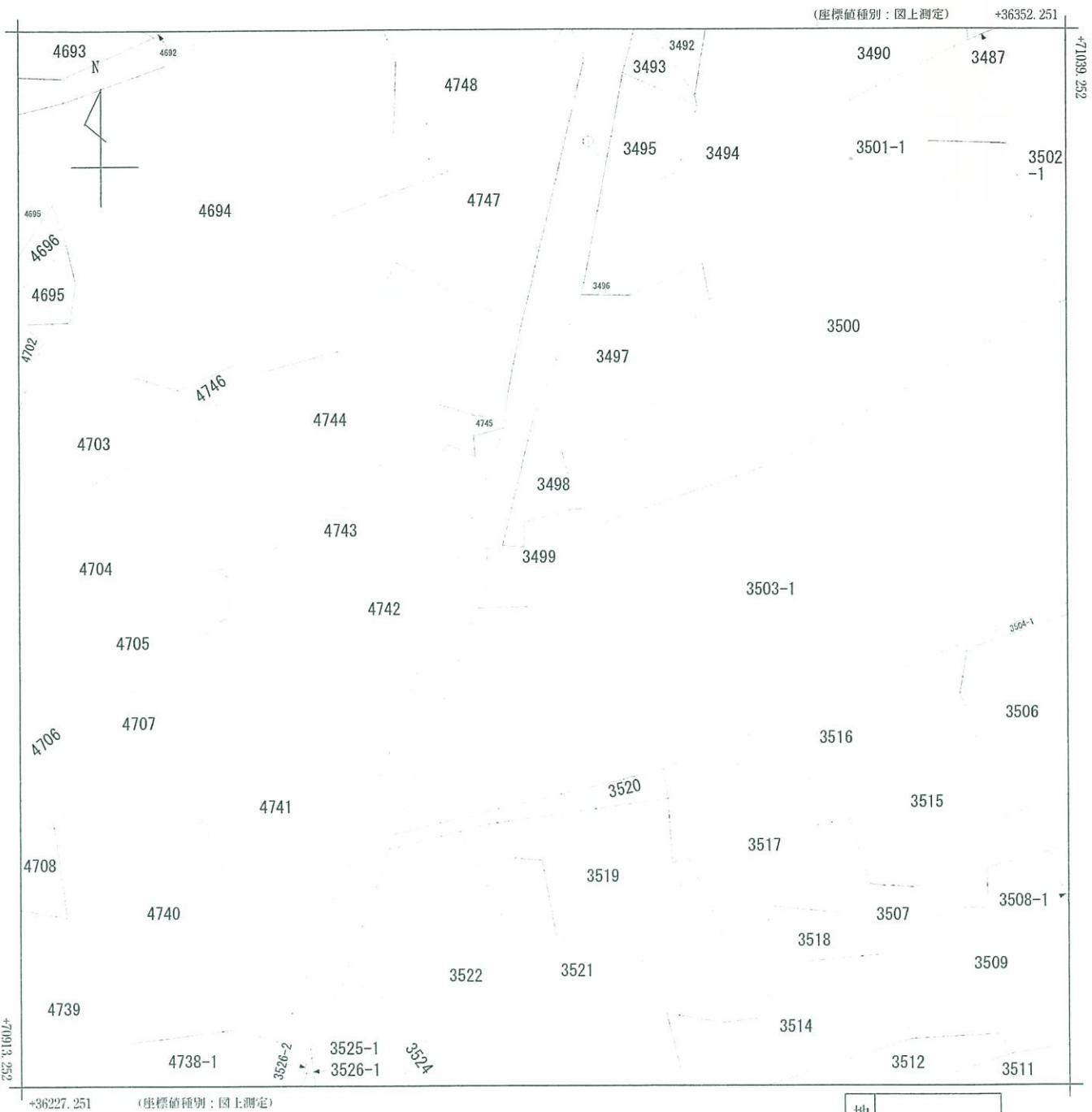
沖縄県土地対策室資料
が原図

70.50
36.40
36.50

2	3507(1/3)	原
レ	4708(2/5)	原
ナ	2986(3/4)	原
ニ	4689(3/2)	原
ホ	4689(2/3)	原

イ	4650(2/2)	原
ロ	3323(1/2)	原
ハ	3331(1/2)	原
ニ	3496	原
ホ	3518(1/2)	原
ヘ	3320(2/2)	原
ニ	3341(1/2)	原
ホ	3491	原
ニ	3745	原
ホ	3521(1/2)	原
ニ	3506(1/2)	原
ホ	3344(1/2)	原
ニ	3346(2/3)	原

指定区分: 1000 町
1:500 地籍図 1000 町
原図: 土地対策室 (沖縄県)

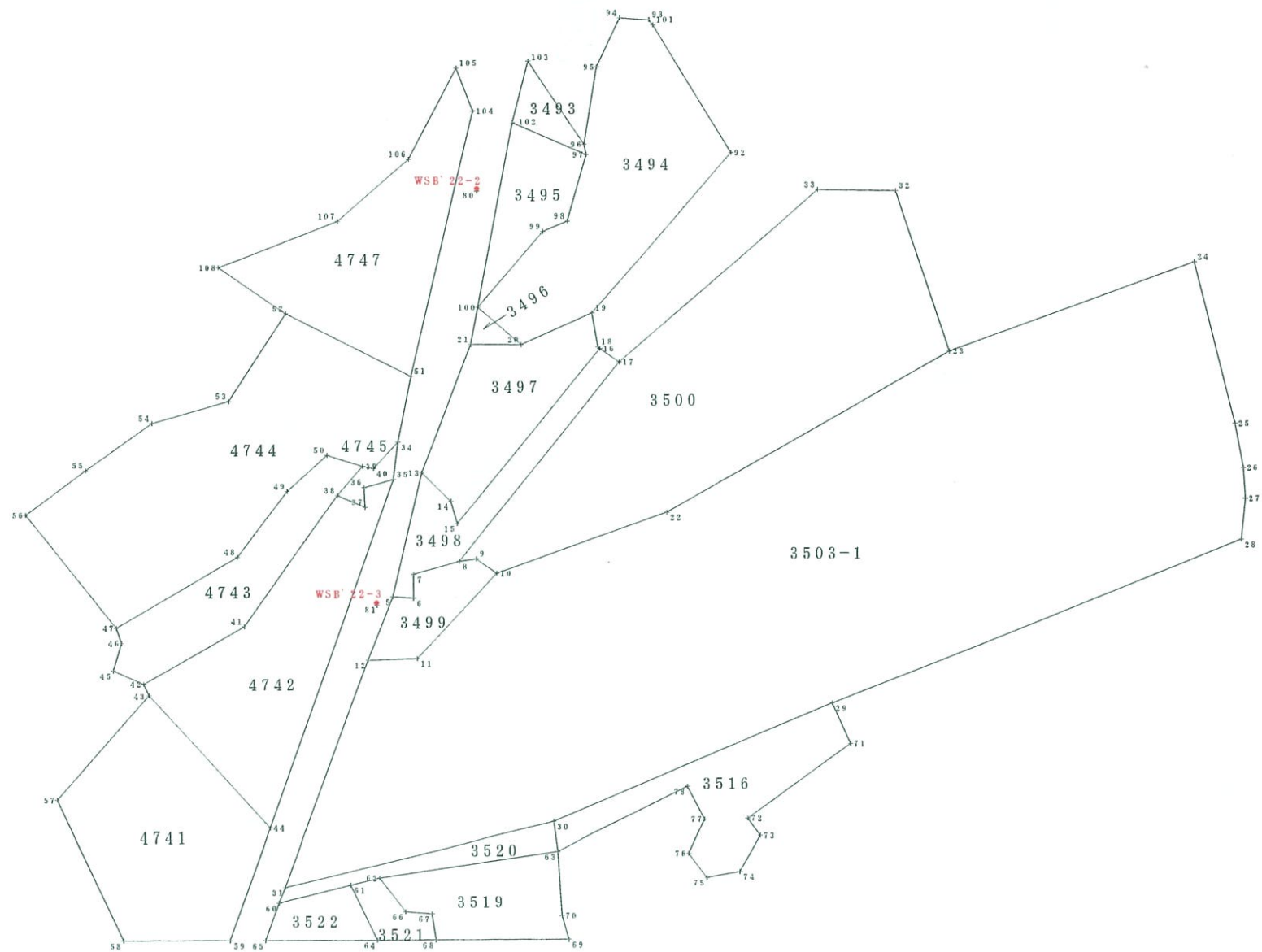


地番区域見出
字瀬底

請求部	所在	国頭郡本部町字瀬底内武前原				地番	3499番			
出力縮	1/500	精度区	乙一	座標系番号又は記号	X V	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和43年11月				備付年月日(原図)	昭和51年4月6日		補記事項		

WSB' 22-1
図根読み値

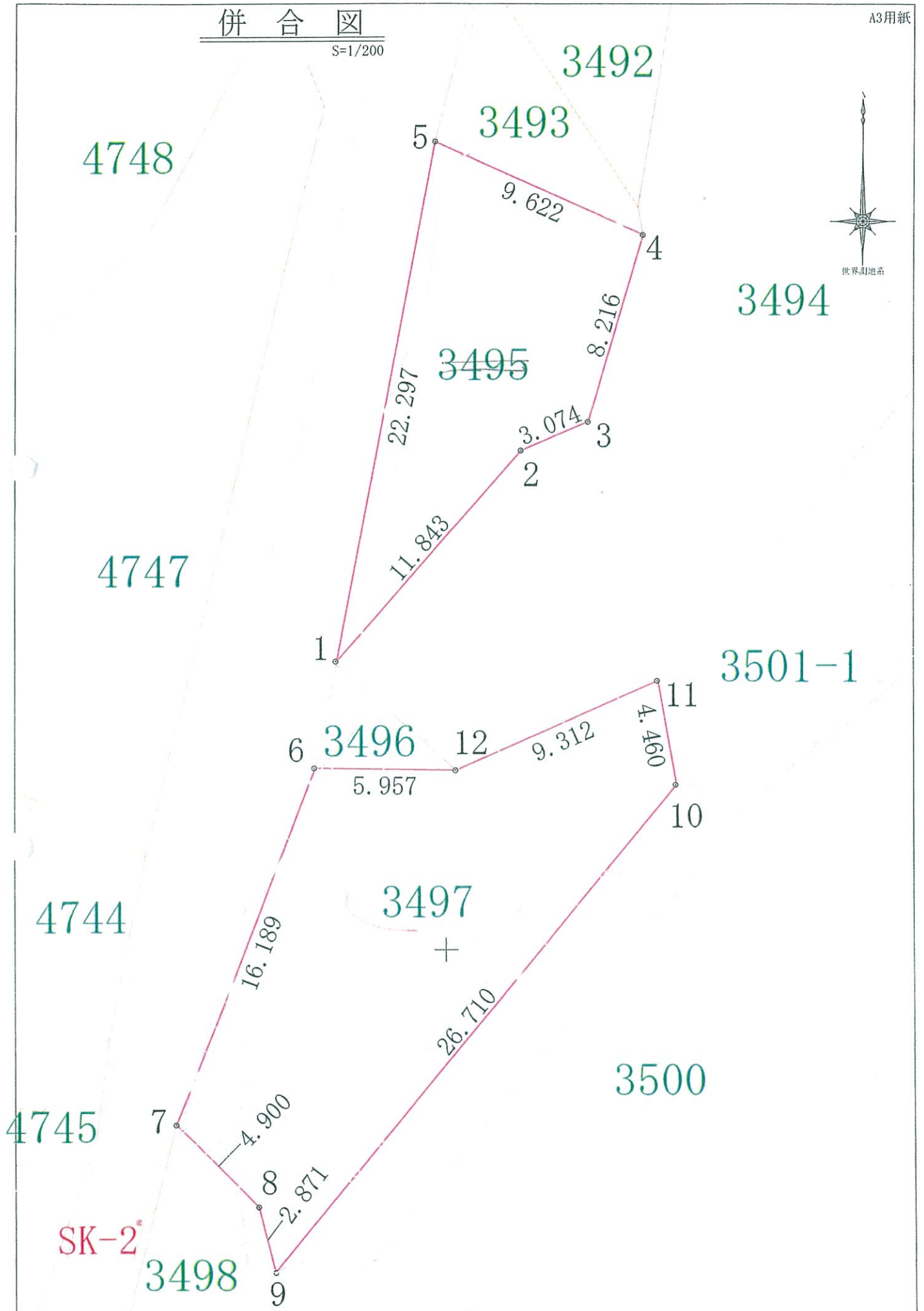
地図読み取り図面



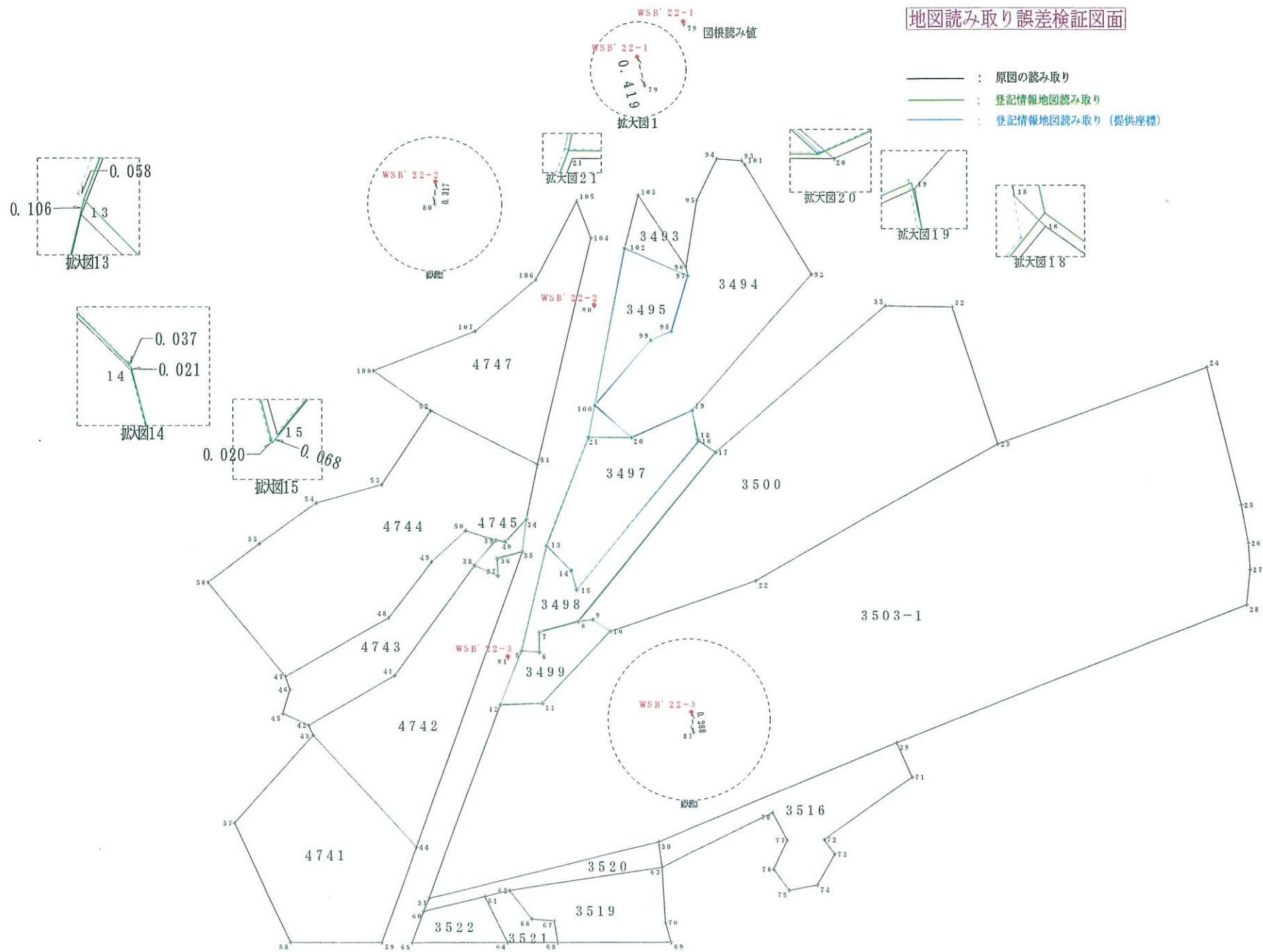
併 合 図

S=1/200

A3用紙



地図読み取り誤差検証図面



37年 1月13日

世界測地系

座 標 変 換 計 算 簿

設置年度：平成 年度

座 標 系：15系

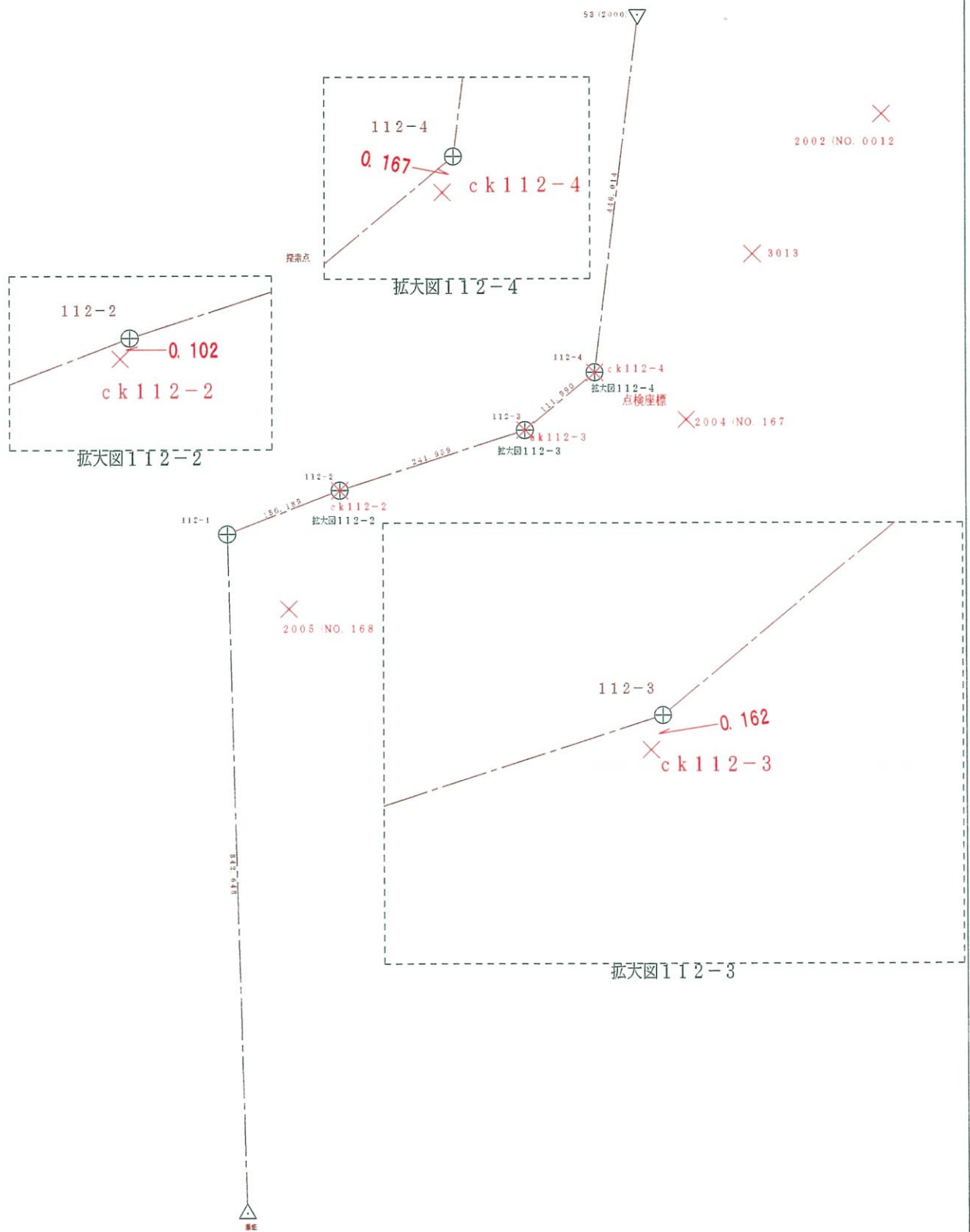
座標変換の方法：バイリニア法 九州沖縄, par Ver. 2.1.1 による座標変換

日 本 測 地 系				世 界 測 地 系				種類	変換
点番	点名	旧X座標 (m)	旧Y座標 (m)	点番	点名	新X座標 (m)	新Y座標 (m)		
523	SB' 22-1	70628.560	36492.720	761	WSB' 22-1	71065.659	36307.752		
524	SB' 22-2	70589.040	36480.280	762	WSB' 22-2	71026.139	36295.312		
518	SB' 22-3	70539.930	36468.110	763	WSB' 22-3	70977.029	36283.141		
519	SB' 22-4	70470.120	36439.900	764	WSB' 22-4	70907.218	36254.931		

角点成果簿 (原本) (抄写)

GB-2

■ 点名	SB'22	b 座標系	琉球	c 緯度区分	Z1	d 緯度	
■ 点名	2	3	4	5	6		
	X	Y	H	S	L		
SB'11-13	km m cm	km m cm	m cm	m cm	° ' "		
SB'22-1	70.681.99+	36.492.25	.	44.461.91	6.57		
SB'22-2	628.56+	482.72	.	41.431.97	25.33		
SB'22-2	589.04+	480.28	.	50.601.93	49.11		
SB'22-3	538.93+	468.11	.	75.28.20	59.01		
	470.12	439.90	.	45.43.22	57.32		



37年 1月23日

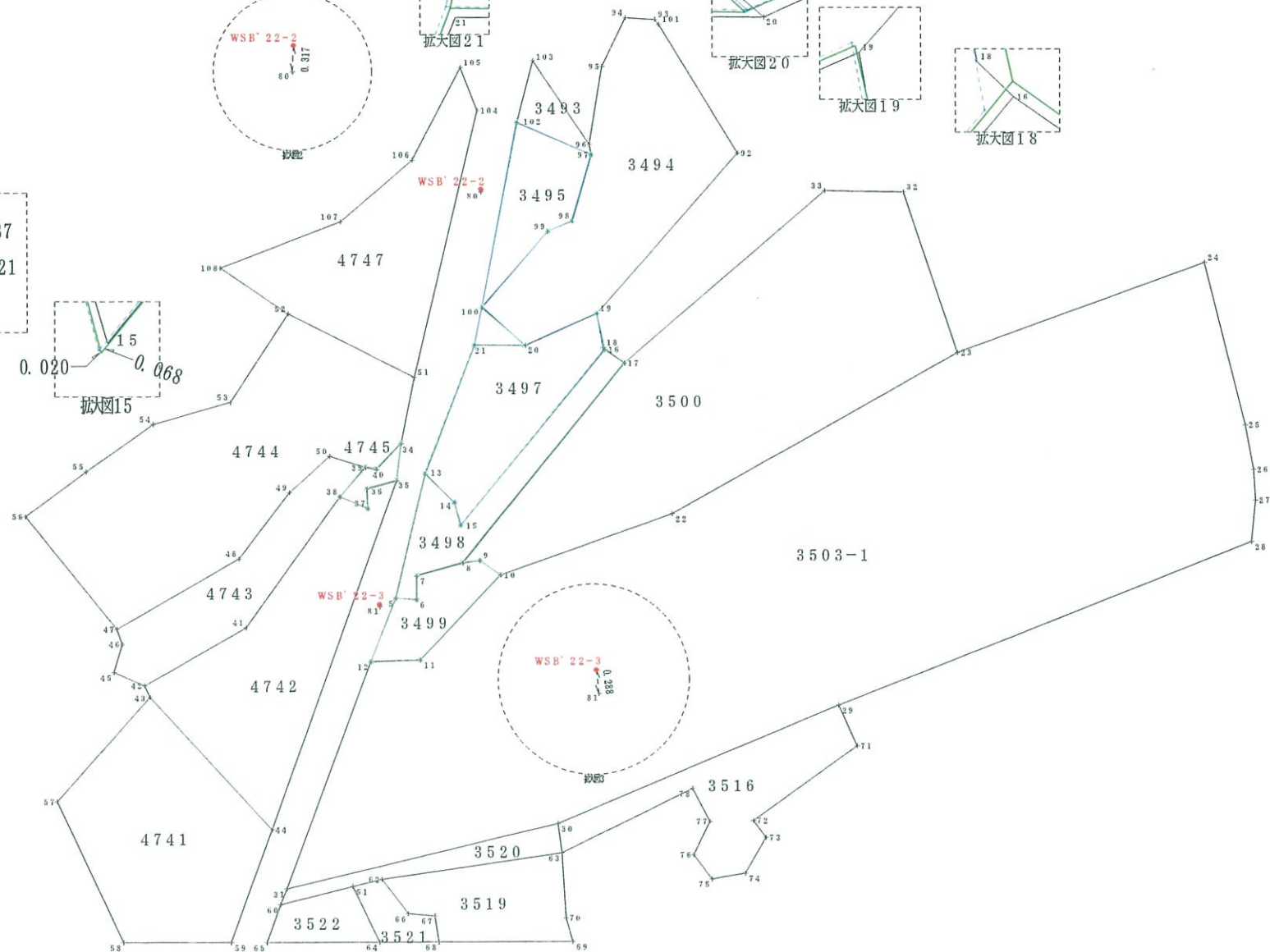
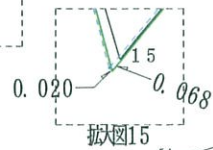
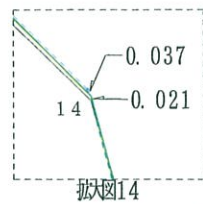
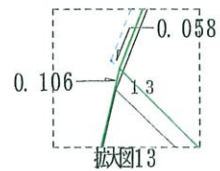
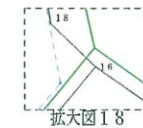
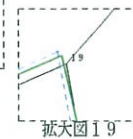
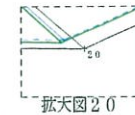
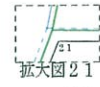
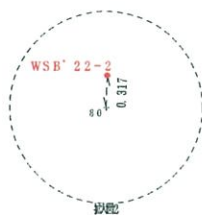
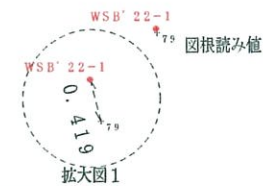
重み付け補間

変換元点名 (P1)	変換先点名 (P1')
112-2	ck112-2
112-3	ck112-3
112-4	ck112-4

変換元点名	点番 (Q1)	点名 (Q1)	X座標	Y座標
WSB' 22-1	765	22-1 (2011)	71065. 526	36307. 703
WSB' 22-2	766	22-2 (2011)	71026. 007	36295. 263
WSB' 22-3	767	22-3 (2011)	70976. 900	36283. 093

地図読み取り誤差検証図面

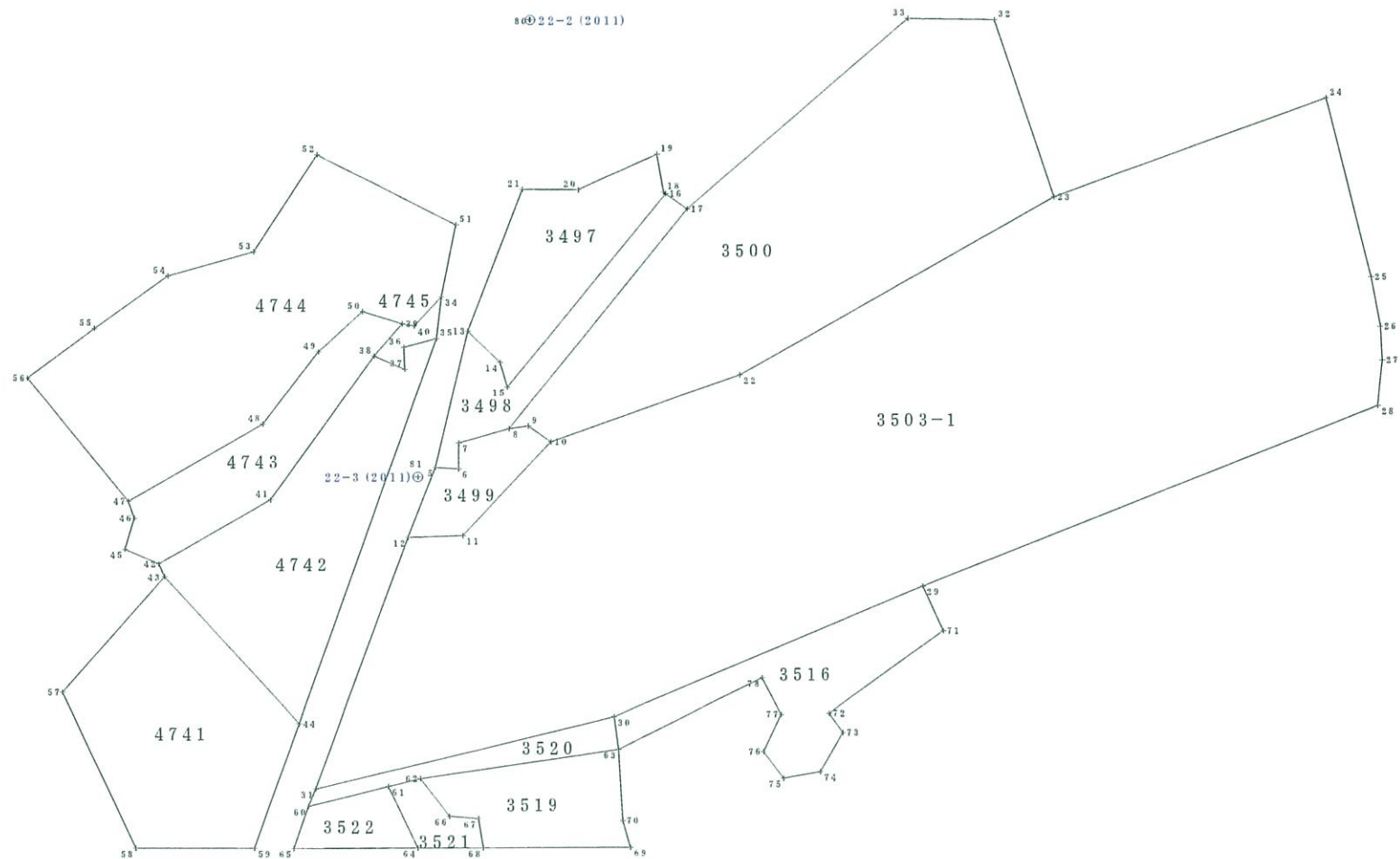
- : 原図の読み取り
- : 登記情報地図読み取り
- : 登記情報地図読み取り (提供座標)

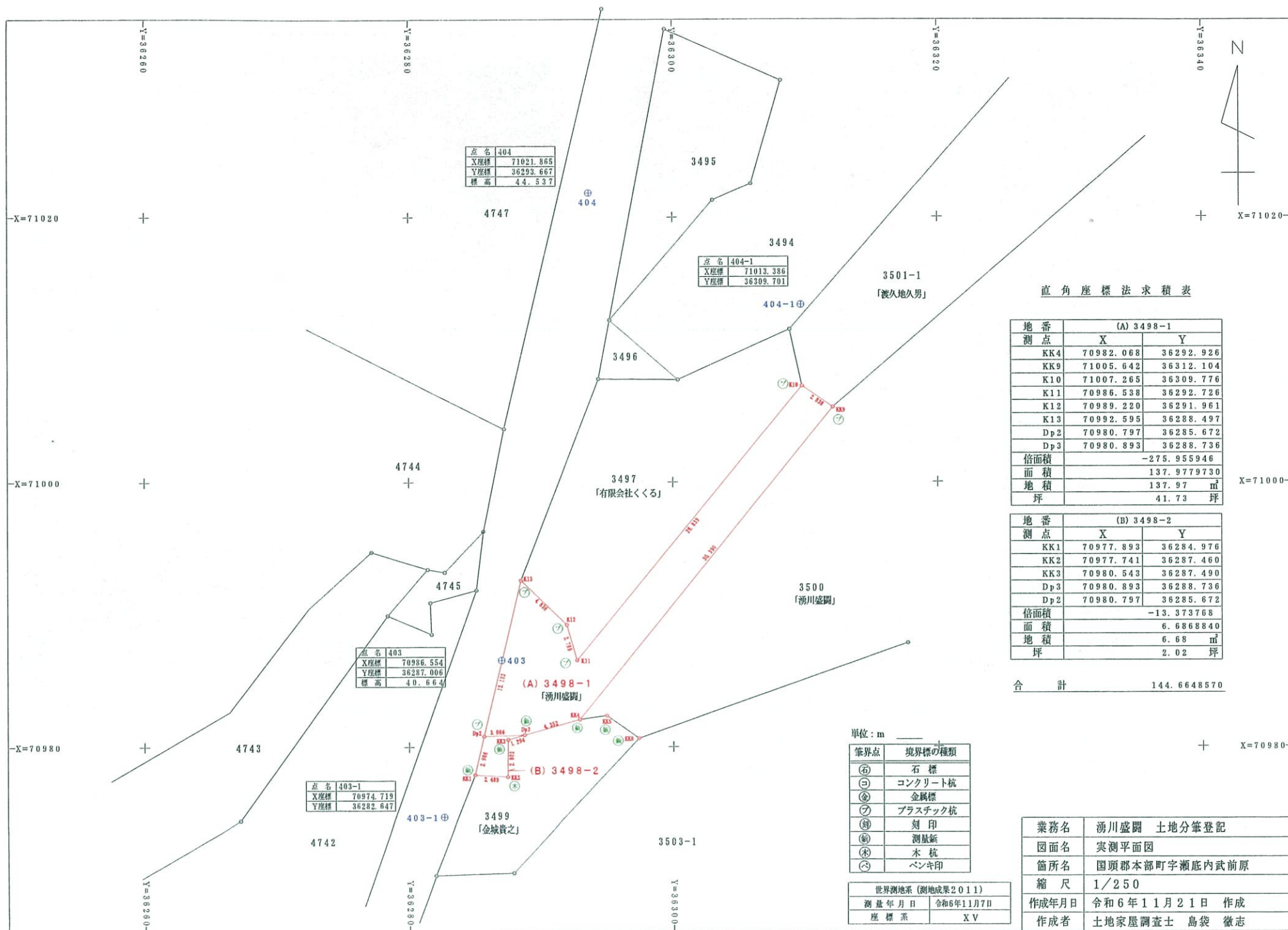


② 22-1 (2011)

図根点 22-1 と 22-3 を基点に重ねた図面

図根読み値
図根成果 (2011)





境界点写真

申請箇所

国頭郡本部町字瀬底内武前原 3499番

遠景撮影

K6



境界点写真

申請箇所

国頭郡本部町字瀬底内武前原 3499番

遠景撮影

K5



境界点写真

申請箇所

国頭郡本部町字瀬底内武前原 3499番

遠景撮影

K4



境界点写真

申請箇所

国頭郡本部町字瀬底内武前原 3499番

遠景撮影

K1



(境界標埋設作業)

第56条 境界標埋設とは、筆界点等に永続性のある標識を設置する作業をいう。

- 2 新たに埋設した標識の維持管理が困難である場合を除き、一筆地測量着手前に永久標識の埋設を完了することが望ましい。
- 3 隣地に接して境界標を設置する場合には、隣接地所有者の承諾を求めるものとする。
- 4 位置が特定されている境界標の埋設は、次のいずれかの方法により行うものとする。
 - (1) 2台のTS等の視準線の交点として行う方法
 - (2) 2本の水糸の交点として行う方法
 - (3) 1台のTS等の視準線上で距離を測定して行う方法
- 5 位置が特定されている境界標の埋設では、埋設前に隣接筆界点間の距離を測定するとともに埋設後は点間距離の検測を行い、許容制限を超えているときは改めて埋設を行うものとする。

【趣 旨】

筆界点等に永続性のある標識を設置する際の作業について規定したものである。

境界標については、確認された筆界の予防司法的見地からも物的証拠すなわち現地に永久標識を埋設することが第一義である。

【運 用】

【境界標設置の一例】

図 1-1

(金属四角プレートを既設コンクリートに
埋め込んだ場合)

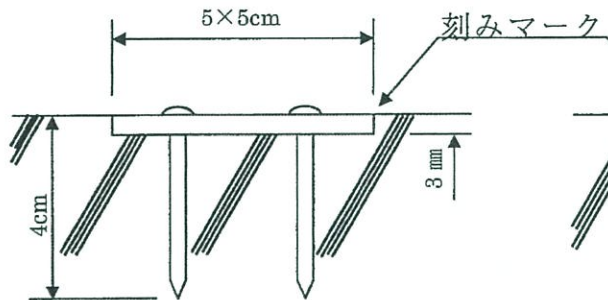


図 1-2

(金属円形プレートを既設コンクリートに
埋め込んだ場合)

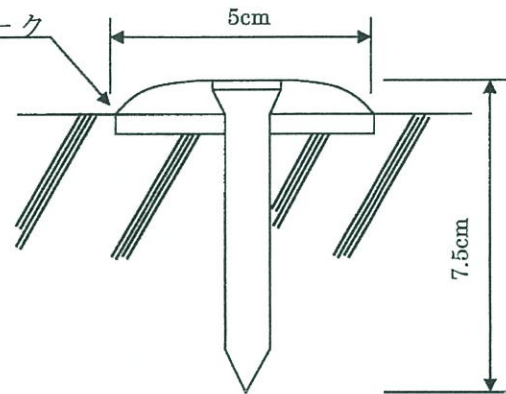


図 1-3

(金属四角プレートを新設コンクリートに
埋め込んだ場合)

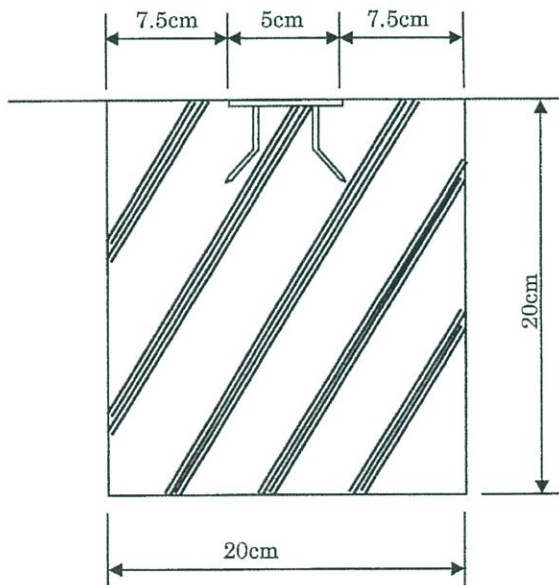


図 1-4

(金属円形プレートを新設コンクリートに
埋め込んだ場合)

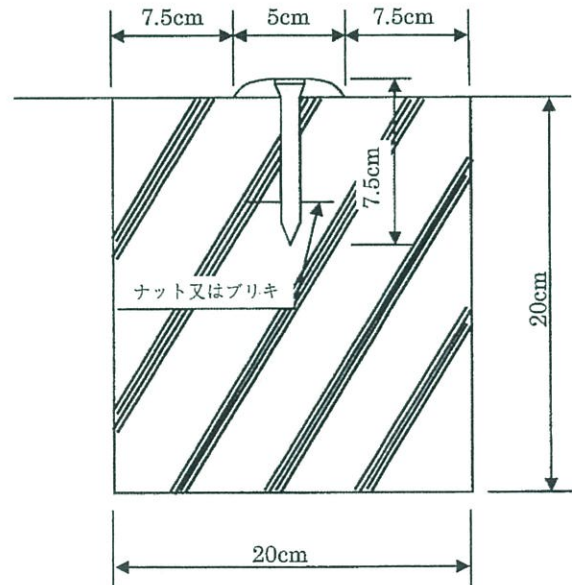


図 1-5 軟弱地盤の場合

(コンクリート杭を埋め込んだ場合)

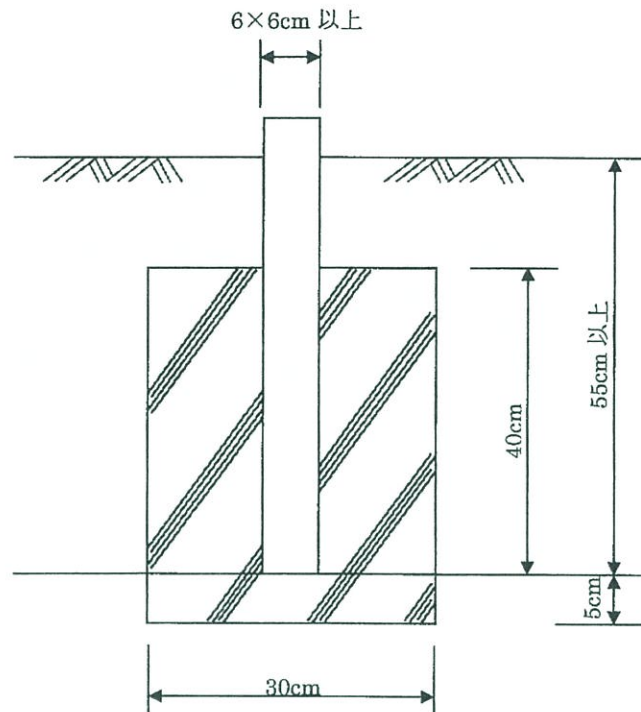
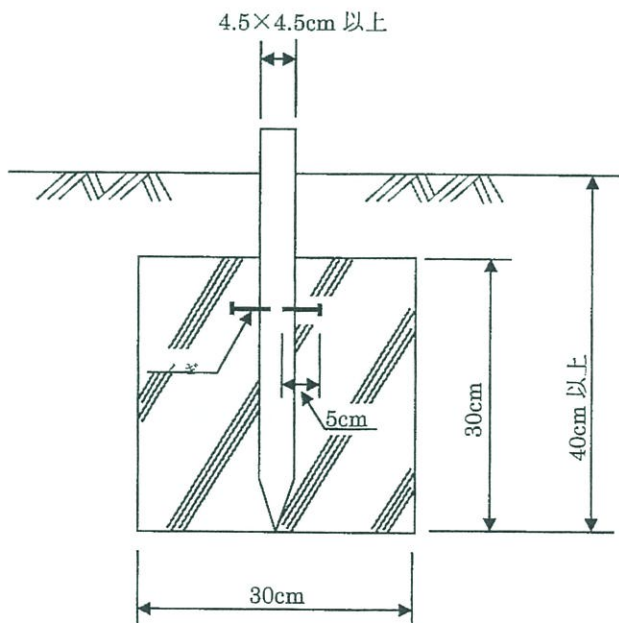


図 1-6 軟弱地盤の場合

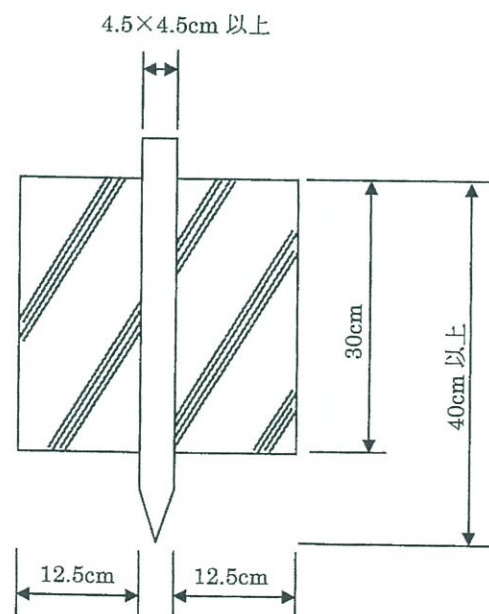
(プラスチック杭を埋め込んだ場合)



釘等を用いて不動性を増強することが望ましい

図 1-7 軟弱地盤の場合

(プラスチック杭を打ち込んだ場合)



タッパーで打ち込んだ後、プラスチック杭を打ち込み周辺を $(25 \times 25\text{cm})$ 掘ってコンクリートを流し込む。

点間距離の検測値と、所定の点間距離との較差の許容制限は、次表を標準とする。

地形区分	較 差 の 制 限	
市街地	1/3000	点間距離15m以内は5mm以内
平 地	1/2000	点間距離20m以内は10mm以内
山 地	1/1000	点間距離20m以内は20mm以内

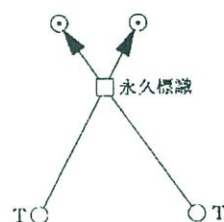
(注) 測量地域が市街地又は平地であっても、筆界点が急傾斜地（傾斜角15度以上）に存在するときは、平地又は山地の制限を適用することができる。

【解 説】

位置が特定されている境界標の埋設は、次の要領により行う。

1. 2台のトータルステーション等の視準線の交点として行う方法

精度はよいが、1回に1点しか埋設ができないから、能率はよくない。作業中、器械の移動を点検するために、見通し杭を打設することが望ましい。



2. 2本の水糸の交点として行う方法

作業員が多ければ、数点の埋設を同時に行うことができるから能率はよい。4本の控え杭は、埋設後の永久標識の杭頭より、やや高めになるように打設しなければ、水糸を張ることができないから注意を要する。



3. 1台のトータルステーション等の視準線上で距離を測定して行う方法

トータルステーション等を適当な位置に整置すれば、同時に数本の杭を埋設することができるが、測距による誤差が加わるから、精度は若干落ちる。1.と同様に、見通し杭を打って、距離を測っておくことが望ましい。

